

2018(平成30)年度 全学FD教員研修会 (2019.2.13) \* アンケート集計結果 \*

◆開催内容

日時：2019年2月13日(水) 13:00～14:30  
 場所：ユージニア館 E401  
 テーマ：「学習評価の基礎～教員と学生にとって魅力ある授業を展開するために」  
 講師：大阪大学全学教育推進機構 浦田 悠 特任講師  
 コーディネーター：現代人間学部 佐藤 純 准教授

所属別出席状況

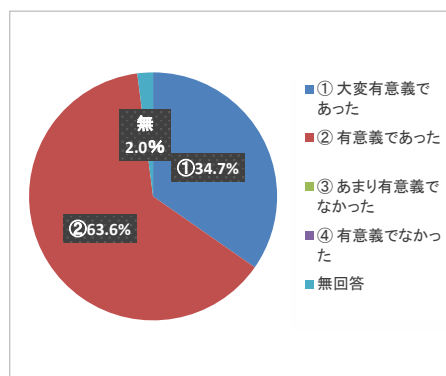
所属	所属数	合計	割合
学長	1	1	100.0%
英語英文学科	15	7	46.7%
人間文化学科	12	9	75.0%
福祉生活デザイン学科	13	11	84.6%
心理学科	14	9	64.3%
こども教育学科	16	13	81.3%
生活福祉文化学部	1	1	100.0%
教員合計	71	50	70.4%
職員		5	
教職員合計		55	

◆アンケート集計結果

参加者数 57 名 (内職員5名)  
 回収数 49 部 (回収率86.0%)

問1 所属について

所属	人数	割合
① 英語英文学科	6	12.2%
② 人間文化学科	7	14.3%
③ 福祉生活デザイン学科	11	22.4%
④ 心理学科	8	16.3%
⑤ こども教育学科	12	24.5%
⑥ その他	4	8.2%
無回答	1	2.0%
合計	49	100.0%



問2 今回の研修会について

選択肢	人数	割合
① 大変有意義であった	17	34.7%
② 有意義であった	31	63.3%
③ あまり有意義でなかった	0	0.0%
④ 有意義でなかった	0	0.0%
無回答	1	2.0%
合計	49	100.0%

問3 今回の研修会について、ご意見・ご感想をご自由にお書きください。

回答内容	所属 (カッコ内数字は問2の回答)
1 基本的なことが多かったですが、改めて認識することも多く、話し方も丁寧で良かったです。	(英②)
2 知っている情報も多かったですが、包括的にまとめて教えてくださったので、整理ができました。	(英②)
3 ただルーブリックについてもっと教えてほしい。よくわかっていないので。このFDは重要であるのはわかるが、研修会が多すぎます。	(英②)
4 ルーブリック等は有益であった。ただ、阪大の学生と本学学生の違いがありすぎて…。	(英②)
5 評価の多様な方法が学べて良かった。	(英②)
6 公正な評価の在り方について、学ぶことができました。	(英①)
8 具体的な内容のある研修会で、ここ数年では一番良かった。	(人②)
10 いままで知らなかった評価方法をたくさん勉強することができました。「概念マップ法」「ルーブリック」などもっと学習して、授業中に取り入れたいと思っています。	(人②)
11 事例みせていただいたのが、参考になりました。	(人無)
17 わかりやすかったです。タイトルテーマもちょうど知りたい時期だったので、有意義でした。ありがとうございます。	(福①)
18 評価のし方について、「なるほど」と思うことがいくつかあった。シラバス作成に生かしていこうと思う。	(福①)
20 シラバス作成前に実施してほしいと思いました。わかりやすいお話で、参考にしたいと思います。	(福②)
21 リアルな内容で分かりやすかったです。自分の講義に活かしたいと思いました。ありがとうございます。	(福①)
22 かい内容になりがちなテーマでしたが、90分面白く拝聴できました。来年度から実際に活用してみたい方法がいくつかありました。また講師として来ていただきたいです。	(福①)
23 学修評価の意義について改めて考え、自ら評価についてメリットやデメリットを確認することができました。今後は評価方法を検討し、学生に具体的に説明していきたいと思っています。ルーブリックについて学びたいと思います。本日はありがとうございました。	(福①)
24 評価の基礎がよくわかりました。シラバス作成前に研修があると良かった。	(福②)

25	今回は基礎編ということで知っている内容も多かったですが、自分の評価について客観的に振り返ったり、ルーブリックのこと（まだ着手できていない）を教えていただけたりと、今後評価の質を高める（複数方法によって評価する/間接・直接/量・質を混ぜる）ということを試みたいと思いました。きちんと評価する＝時間もそれなりにかかるので、その時間がとりにくいところが残念なのですが…効率良く良い評価ができる方法をさらに知りたいです。	(心②)
29	具体的内容でわかりやすかったように思います。すぐ使えそうです。	(心②)
30	なめらかな語り口、メリハリのあるくみたてで、とても良かったです。とはいえ、授業設計に関しては、そもそもプロでなく…（教免もなく）難しいですね。	(心①)
31	学習評価について勉強になりました。	(心①)
32	内容が整理されていて、とてもわかりやすかった。テーマも今、必要とする内容でためになった。	(心①)
33	ルーブリックの形骸化の問題もあるので、活用の仕方の●●が必要ですね。作ることで精一杯の状況です。ありがとうございました。	(こ②)
34	次年度ルーブリック等を作成し、学生に明確に到達すべき目標を示そうと思った。	(こ②)
35	新しい情報も得られてよかった。	(こ②)
36	大変参考になりました。再度、具体事例を基にした研修を希望します。	(こ①)
37	学習評価について、詳細に学ぶことができ、とても有意義であったと思います。コピペルナー導入してほしいです。	(こ①)
39	考えていたことと重なり、安心したところと、新たに学べたところがあってよかった。学んだことを具体化 一例えば、シラバスの書き方。 ルーブリック作成 一していきたい。	(こ②)
40	わかりやすく、有意義であった。	(こ①)
41	講話の内容が明確で、とても参考になりました。	(こ①)
42	学習評価の基礎について復習できてよかったです。	(こ②)
43	学習評価について、学生も変わる中、悩むところでしたので、おもしろく、わかりやすく説明していただき、よくわかりました。	(こ②)
48	大変わかりやすい研修だった。	(他②)

問4 今後の教育力向上の取り組み（FD活動）を行うため取り組んでみたい内容があれば、その番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢	人数	割合
①キャリア教育	4	3.9%
②高大接続・連携	8	7.8%
③ルーブリック評価	2	2.0%
④ライティング指導	16	15.7%
⑤反転授業	22	21.6%
⑥学修成果の可視化	10	9.8%
⑦障害のある学生への支援・配慮	7	6.9%
⑧アクティブ・ラーニング	10	9.8%
⑨シラバス作成法	12	11.8%
⑩大学院FD	2	2.0%
⑪学生FD	4	3.9%
⑫授業での情報機器の活用法	2	2.0%
⑬学力不足学生への学習支援	3	2.9%
⑭その他	0	0.0%
合計	102	100.0%

問5 本学のFD活動（オープンクラス、FD研修会、全学FD教員研修会、授業評価アンケートの活用など）について、ご意見・ご感想をご自由に記入してください。	所属（カッコ内数字は問2の回答）
16 授業方法に関するものばかりですこし飽きました。別の話題を！	（福②）
17 ありがとうございました。	（福①）
35 いつもありがとうございます。	（こ②）
47 学内の先進的な授業をもっと積極的に学び合う機会をぜひ作っていただきたい。	（他①）